

2016年(平成28年)12月17日(土曜日)

「男性の方！ ひとりで悩んでいませんか？」。名古屋市は7月から、電話のみでは対応しきれない、夫婦関係、仕事などの悩みに対応する対一の「男性面接相談」を実施し、注目を集めている。推進してきた公明党の三輪芳裕、木下優の両市議はこのほど、現場を視察し、男性相談員から利用状況などを聞いた。

### 名古屋市

同市では、2010年度から電話による「男性相談」を開始し、昨年度の相談件数は過去最多で合計124件だった。内容別に見ると、「夫婦問題」が41件と一番多く、「家族」「暴力」「心」「仕事」などが続いた。男性の場合、悩みを一人で抱えたり、生活を支えなければと自身を追い詰めたりするケースが少なくない。

市によると、市内の男性の自殺率は女性の2倍と圧倒的に高い。このため市は今年度から、電話相談日を月4回から月5回に拡充するとともに、男性面接相談を開始するに至った。

## 家庭や仕事の問題 男性向け面接相談

# 対一で専門員が対応

## 「話を聞いてもらいたい良かった」

面接相談は、第4木曜日の午後6～8時。個室でプライベートに配慮され、専門の男性相談員によるカウンセリングが行われる。面接相談は1日2人(1人当たり45分間)までで、事前に電話で相談員と個々の問題を整理した上で、必要に応じて利用できる。面接の1週間前には、相談者の状況に応じた支援方法の検討や情報共有を図るため、男性相談員全員が集まり、市職員や女性相談員を交えて「ケース会議」を行う。この日、三輪、木下の両市議との懇談の中で、男性相談員は、60歳代の男性から夫婦問題や妻の病気に



「男性面接相談」の相談室で、利用状況などについて話を聞く(左から)三輪、木下の両市議

### 支援方法など ケース会議行い検討

いて相談を受けたことを説明。その男性から「直接相談できる人がいなかったの話を聞いてもらえて良かった。最初は「面接」と聞き緊張していたが気が休まった。頑張ってみよう」との声が寄せられたことを紹介した。また、面接相談について相談員は「表情が見え、相談者の困り具合が分かるし、意思疎通が図りやすい」と話した。両市議は「この制度を活用し、一人で悩む男性が元気になるしてほしい」と述べ、「さらなる普及・啓発を求めていく」と決意を語った。

#### 公明が提案し推進

電話相談日の拡充や男性面接相談の設置については、14年10月の市議会総務環境委員会でも木下市議が提案、15年10月の同委員会では、三輪市議が面接相談の設置を再度主張するなど、党市議団として粘り強く推進してきた。